

信州大学医学部附属病院に通院中または過去に通院・入院された  
患者様・ご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年7月7日

## 「多項目自動血球分析装置 XN-9000 を用いた 左方移動フラッキング (LS-NEUT) の性能評価」

に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の  
情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4118
研究課題名	多項目自動血球分析装置 XN-9000 を用いた左方移動フラッキング (LS-NEUT) の性能評価
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 臨床検査部
研究責任者(職名)	本田 孝行 (信州大学医学部 臨床検査部 部長)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2021年3月31日
研究の意義、目的	目視鏡検でしか判定することができなかった左方移動の有無を、自動血球分析装置を用いて迅速かつ正確に検出可能にすることを目的とした研究で、細菌感染症の診断・治療に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2017年11月1日から2020年12月31日の期間に信州大学医学部附属に来院、入院された方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、現病歴、全検査結果/EDTA 加血(血算検体)、血液塗抹標本
研究方法	目視法による桿状核球の割合と LS-NEUT を比較し評価する。LS-NEUT が実際、感染症の予測マーカーとして使用できるのか感染症の度合いを示す検査項目と比較し、評価する。
共同研究機関名	シスメックス株式会社
問い合わせ先	松本 剛 (信州大学医学部 病態解析診断学 助教) 電話:0263-37-3493

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。